

第2学年	家庭科	使用教材	教科書（開隆堂） 技術・家庭 家庭分野	家庭科担当 越智 愛果
------	-----	------	------------------------	----------------

<学習の目標>

生活に必要な基礎的・基本的な知識および技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

授業のポイント	・準備物をそろえ、話をしっかり聞くこと。 ・提出物は期限内に提出する。自分の意見をしっかり持ち、積極的に発表する。
家庭学習について	・家ででの実践で力をつけることができる。自分なりに工夫して取り組む。 ・授業でやったことを家庭でも取り入れる。
テストについて	・1学期末、2学期末、3学期期末試験を実施する。

評価の観点	判断基準について
生活と技術についての基礎的な知識を理解しているとともに、それらに係る技能を身につけている。	出席、忘れ物、授業態度、提出物、課題に対する取り組みの姿勢
生活や社会の中から問題を見い出して課題を設定し、実践・評価・改善などを通して課題を解決する力を身につけている。	提出物や課題の内容、定期テスト
よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し、実践しようとしている。	提出物や課題の内容、定期テスト

<年間授業計画>

学期	学習内容	つきたい力	課題
1	・食事の役割と食習慣 ・中学生に必要な栄養を満たす食事 ・様々な食品とその選択 ・地域の食文化	食事の役割や栄養素などについて考える事ができる。毎日の食事について考える事ができる。	・プリント ・ノート
2	・献立作り ・日常食の調理 ・持続可能な食生活	調理実習の流れ、用具の使い方、安全で清潔な実習の仕方が理解できる。食材の種類や栄養、調理上の性質などの特徴を理解し、適切に調理や盛り付けができる。1日分の献立を考える事ができる。	・調理計画
3	・家庭生活と消費 ・購入、支払いと生活情報	消費生活の仕組みについて考える事ができる。	・ノート

<荒牧中学校 研究テーマ> 「自主・自立を促し、主体的に学び活動する生徒の育成 ～言語活動の先にある協同的探究を目指して～」 自主的に取り組める雰囲気づくりをし、生徒同士の意見交換によって課題を見つけ、その課題を解決できる授業づくりをする。
--